

別 記
第 1 号様式

(記 入 例)
京の老舗表彰申請書

令和〇年〇〇月〇〇日

京都府知事 西脇 隆俊 様

氏名、屋号又は名称 株式会社 〇〇商店

代表者氏名 代表取締役 〇山 〇子

(電話 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇)

(FAX 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇)

社名・ 屋号等	現在 (ふりがな) 〇〇しょうてん 株式会社 〇〇商店	創業時 (ふりがな) 〇〇しょうてん 〇〇商店
所在地	現在 (正確に記入すること) 京都市上京区〇〇通〇〇西入 〇〇町〇〇番地	創業時 (簡単に記入すること) 〇〇県〇〇市 〇〇町〇〇丁目〇〇番地
代表者 氏名	現在 (ふりがな) 〇やま 〇こ 〇山 〇子 創業者との関係 (曾 孫) 継 承 代 数 (4 代 目)	創業時 (ふりがな) 〇やま 〇たろう 〇山 〇太郎
創業年次	創業年月日 明治 20年 〇月 〇日	府内での開設年月 明治 30年 〇月
事業内容	現在 〇〇製造卸販売	創業時 〇〇販売
所属団体	〇〇製造販売協同組合 / 京都商工会議所	

<p>企業の特徴及び概要</p>	<p>明治20年の創業以来、〇〇の卸販売に携わり、明治30年に京都府内へ移転した後に、〇〇の製造を開始する。</p> <p>代々の顧客を大切にすることを心がけ、株式会社へ経営形態を変更した後も、地域に密着した堅実な経営を重視する。</p> <p>取り扱う商品は、創業以来の伝統的な手作りの良さを残した〇〇に加え、昭和42年に建設した工場で生産する〇〇がある。</p> <p>工場で生産する〇〇はスーパー等の大手流通に卸す商品であり、現在の主力商品であるが、今後は、顧客のニーズに柔軟に対応した少量他品種で高い付加価値を持つ商品にシフトする方針である。</p>
<p>家伝家訓等 (大丸の例)</p>	<p>「先義後利」</p> <p>元文元年（1736年）、業祖・下村彦右衛門によって「先義而後利者栄」を事業の根本理念として決めました。この言葉は中国の儒学の祖の一人、荀子の榮辱編の中にある「義を先にして利を後にする者は栄える」から引用したものです。企業の利益は、お客様・社会への義を貫き、信頼を得ることでもたらされるとの意味で、言い換えると「お客様第一主義」「社会への貢献」となります。これは、大丸グループ共通の精神、営業方針の根本となってきました。</p>
<p>過去業務に関し、刑罰を科された事実の有無</p>	<p>有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無</p>
<p>府税滞納の有無</p>	<p>有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無</p>

※別紙業歴書、府税滞納有無調査承諾書を添付してください。

※申請書類は1部提出してください。

※基準日の100年以前に営業していたことを証明する「物件」の写し又は写真を添付してください。

「物件」とは、①営業免許証②博覧会等の表彰状③年号の入った看板道具等④大福帳 ⑤撮影した年月日の明確な店舗・工場の写真⑥建設年代の明確な店舗・工場の写真⑦新聞記事などを指します。

※申請内容に虚偽があることが判明した場合、申請をお受けできないことがあります。

(記入例)

令和〇年〇〇月〇〇日

京都府知事 西脇 隆俊 様

府税滞納有無調査承諾書

令和〇年度京の老舗表彰申請企業への府税滞納状況確認に伴い、当社に係る「府税の納税状況（滞納の有無）」を調査することを、承諾します。

所在地 京都市上京区〇〇通〇〇上ル〇〇町

法人名（屋号） (有)〇〇商店

代表者氏名 代表取締役〇〇〇〇 印

(記入例)

第2号様式

令和〇年〇〇月〇〇日

京都府知事 西脇 隆俊 様

(推 薦 者)	
住 所 又 は 所 在 地	京都市上京区〇通 〇〇西入〇〇町
電 話 番 号	075-414-0000
氏名、屋号又は名称	〇〇株式会社
業 種	〇〇
代 表 者 氏 名	〇〇〇〇 ㊟

京の老舗表彰推薦書

下記の者は、100年以上府内に主たる事業所を有し、京の老舗として表彰されるのにふさわしいものと認められますので推薦します。

記

氏名、屋号又は名称 (有)〇〇商店

代 表 者 氏 名 代表取締役〇〇〇〇

住 所 又 は 所 在 地 京都市上京区〇〇通〇〇上ル〇〇町